

GREEN RADAR

全農長野県本部情報 / グリーンレーダー



地産地消カレーイベント

A-Front

事業の活性化とJAグループのイメージアップのために。
～「JA農機&資材フェスタ2014」開催～

A-Reports

- ・組合員への有効な助言のために！
～「パイプハウスの建て方講習会」を開催～
- ・「長野県本部酪農ヘルパー協議会」が設立
～酪農家の経営安定と長野県酪農事業の発展を目指して～
- ・おいしかったよ、栄村カレー！
～地産地消カレーイベントを実施～

事業レポート (畜産酪農部)

生産者が丹精込めた畜産酪農品を有利に売りぬき、生産者手取りの向上を。

9

Vol.424

SEPTEMBER 2014



光と風と水のハーモニー

JA全農長野

事業の活性化とJAグループのイメージアップのために。

「JA農機&資材フェスタ2014」開催

長野県農協生産資材事業推進協議会は7月18日(金)～19日(土)、長野市エムウェーブで「JA農機&資材フェスタ2014」を開催しました。このイベントは、農家や広く農業に関心を持つ方々を対象に、多くの農業機械・生産資材を展示即売し、事業の活性化とJAグループのイメージアップをはかるために毎年開催をしています。

農機26社、肥料11社、農薬11社、包装資材4社、住宅・自動車関連5社のメーカー・販売会社等やJA長野県営農センター・JAバンク・JA共済等も出展しJAグループあがりのフェスタとなりました。

今年は、サブタイトルを「元気です！信州農業」とし、雪害による打撃やTPPによる影響を受けながらも、力強く前進する信州農業を内外に発信し、JA生産資材事業の結集力を広くアピールしました。

会場では、最新の農業機械の展示・即売はもちろんのこと、肥料農薬・

農業資材など「使って便利な品々」

を一堂に展示した他、防除機の実演、オークションコーナー、中古機販売、自然災害・積雪・除雪対策コーナーでの除雪機の展示、強風・積雪被害を軽減するパイプハウスの建て方を紹介する特設コーナー等たくさんさんのコーナーを設置しました。

また今年は、ご家族連れのお客様に楽しんでいただけるように、「ミニ電車」「アルクマふわふわ」、土曜日限定イベント「魔法使いアキツステージ」も催しました。

このフェスタに向けて、トラクターふれあいキャンペーンなど様々な事前推進をかけてきましたが、それらを含めた成約金額は15億7千万円となり、受付された来場者数も2日間で5,288名と、共に計画を上回ることができました。



管理機の実演



メーカーによる商品説明



魔法使いアキツのステージ



除雪機の展示

組合員への有効な助言のために！

「パイプハウスの建て方講習会」を開催

全農長野県本部生産資材課は、8月1日(金)に県本部営農研修センター(安曇野市)において県内JAの指導及び資材担当者18名の参集を得て「パイプハウスの建て方講習会」を開催しました。

たパイプハウスの復旧状況は、パイプの不足、曲げ加工や施工職人の不足などと思うような進捗となっていないませんが、再建を進めるべく各課題に今後もしっかり組んでまいります。

全受講者が、屋外圃場で作業手順に従い、測量・墨出し・パイプ建て作業を行いました。圃場地盤が硬いため、ドリルを使い一定深度まで穴あけを行うなど、実践的な講習会となりました。

妻面パイプの取り付けに差し掛かったところで、雷雨により残念ながら作業中止となりましたが、受講者からは「組合員への部品の取扱い説明やハウス建て方の助言に活用したい」という意見もあり成果を感じることができました。



2月の豪雪により被災し

JA-LPGガス保安強化およびお客様目線のサービス向上に向けて

「JA-LPGガス保安・推進強化研修会」

長野県農協生活事業推進協議会と全農長野県本部は、7月16日(水)に千曲市内において「JA-LPGガス保安・推進強化研修会」を開催しました。

研修会はLPGガスの保安強化と事業推進の徹底を図ると共に、ホームエネルギー事業推進に対する認知度向上とガス販売促進との連携展開を進めることを目的に、県下JA-LPGガス担当者、取引先約80名が出席して開催されました。

組合員・利用者の皆様にJA-LPGガスを安全安心にご利用いただけるよう長野県ものづくり振興課の担当者を講師に迎え「長野県LPGガスの保安対策」について講演いただき、保安意識の向上を図りました。

続いてENEOSが展開するホームエネルギー診断サービス「Dr. おうちのエネルギー」の先進事例紹介として、名神新日石ガス(株)の担当者を講師に「1円にもならない！うちエネ診断」のうちエネ診断の日常業務化と

組立型総合提案・診断アフター」と題し講演いただき、LPGガス推進活動の軸として取り組むホームエネルギー診断活動が、お客様との信頼関係を築く有効な取組みであることを再確認しました。

今後も更なる保安強化を進めると共にお客様に最適なエネルギー提案ができる体制構築に向けて、お客様目線でサービス向上に努めてまいります。

おうちのエネルギーは
JA-LPGガス保安・推進強化研修会
まるごとJAで！®



講演に耳を傾ける参加者

「長野県本部酪農ヘルパー協議会」が設立

「酪農家の経営安定と長野県酪農事業の発展を目指して」

7月7日(月)、JA長野県ビルで「長野県本部酪農ヘルパー協議会」の設立会議が開催されました。

酪農経営は、毎日、搾乳作業があり、家族労働が主体の本県においては特に周年拘束性が強く、突発的事故が発生した場合、また定期的に休日を確認していくためには、酪農ヘルパーの存在が不可欠なっています。

現在、県内には酪農ヘルパー組合が9組合あり、年間延べ約9,390日の利用(農家1戸当たり年間約15日の休日取得がされています)。

これまで各組合のヘルパー事業の円滑な推進において重要な役割を果たしてきたのが「酪農ヘルパー事業円滑化推進事業」(国の補助事業です。この事業は平成3年～4年に国・県・生産者団体・生産者が総額4億円の基金を造成し、毎年各組合の運営を補助してきました。しかし、この事業が平成25年度で終了し、国の基金出資分は全て返還となったため、この事業に代る新たな事業を構築する必要があるとしました。そのため関係者による検討・協議の結果、新たな事業を立ち上げることとな

り、名称を「酪農ヘルパー制度支援事業」とし、その内容は、生産者・生産者団体の拠出及び県の補助により総額1億3千万円を積み立て、この積立金を毎年20年間取崩して各組合に補助金として支給するというものです。

この事業を管理する団体として、各組合を会員とし、本会が事務局を務める「長野県本部酪農ヘルパー協議会」を設立することとし、今回の設立会議を迎えました。

今後この協議会及び事業が酪農家の経営安定と長野県酪農事業の発展にますます寄与するものと確信しています。



おいしかったよ、栄村カレー！

「地産地消カレーイベントを実施」

全農長野県本部は長野県・ハウス食品(株)と共に「『おいしい信州ふくど(風土)』を食べよう！育てよう！地産地消キャンペーン」の一環として、7月29日(火)に下水内郡栄村で地産地消カレーイベント「夏は信州カレーで元氣いっぱい大作戦」を開催しました。

参加した栄小学校・秋山小学校の児童42人は、さかえ倶楽部スキー場のレストランで地元産の牛肉やズッキーニ・米・きのこなどを使ったカレーと、キャベツとキュウリの浅漬け作りを体験しました。カレーと共に地元のためごで作った温泉玉子やJA松本ハイランド産のスイカも味わいました。

食育教室では肉牛の大きさと成長するまでの様子、たまごの出荷までの過程などを生産者から聞きました。また、カレーを煮込んでいる間に松本山雅FCユースチームによるキッズス

ポーツ教室で同チームの高校生と交流をしました。

参加児童は「ズッキーニはあまり好きじゃなかったけど、カレーに入れたらおいしかった」「温泉玉子が甘くておいしかった」などと話していました。

全農長野県本部は今後も地産地消活動に取り組み、地元産の農畜産物のおいしさを伝えていきます。



31頭が基準を達成し

「信州プレミアム牛肉」に認定！

「第35回信州和牛(長野県産)枝肉共励会」で

最優秀賞1席に三岳平谷牧場(JA全農長野)」

JA長野県・信州肉牛生産販売協議会と全農長野県本部は7月29日(火)、大阪市食肉市場(株)において「第35回信州和牛(県内産)枝肉共励会」を開催しました。県内で生まれ、肥育された38頭が出品され、4等級以上比率が82%と品質に優れた共励会となりました。また、31頭が長野県独自のおいしさ基準を達成し「信州プレミアム牛肉」に認定されました。

一昨年より関西市場で「信州プレミアム牛肉」が上場され、関西圏の消費者の皆さんに認知されてきています。今後、関西地区において「信州プレミアム牛肉」の認知度向上と販路拡大に努めてまいります。

○第35回信州和牛(長野県産)枝肉共励会 入賞者 (敬称略)				
賞	JA名	生産者	種性	血統
最優秀賞1席	全農長野	三岳平谷牧場	和去	安福久×平茂勝×安平
最優秀賞2席	みなみ信州	吉川俊男	和去	茂重安福×安福久×平茂勝
優秀賞	みなみ信州	井坪 章	和去	北乃大福×勝忠平×北国7の8
〃	みなみ信州	岡田敦子	和雌	芳之國×平茂勝×上福
〃	みなみ信州	塩沢和広	和雌	芳之國×安福久×平茂勝
優良賞	信州うえだ	峯村誠太郎	和去	安茂勝×福栄×平茂勝
〃	みなみ信州	木下豊子	和雌	光平照×百合茂×美津福
〃	信州うえだ	竹内徳雄	和去	芳之國×安福165の9×平茂勝
〃	須高	山崎秀治	和雌	北平安×北国7の8×賢深
素牛生産者賞	木曾	白沢ミチ子		(最優秀1席牛生産者)
〃	みなみ信州	吉川俊男		(最優秀2席牛生産者)



地元食材たっぷりの「食育ランチ」を県内3大学で提供

全農長野県本部は7月17日(木)18日(金)、長野県産野菜をたっぷり使用した「食育ランチ」を信州大学・長野短期大学・松本大学の食堂で提供しました。これは、「地元」の農畜産物のおいしさを実感し、親しみを持ってもらうこと、関東農政局長野地域センター・長野県生活協同組合連合会・長野県栄養士会等と共に実施しました。

管理栄養士が考案したバランスの良いメニューが、3大学で合計900食用意され、このランチを食べた学生からは「地元産はやっぱり新鮮でおいしい」「このような機会をもっと増やして欲しい」といった声が多数聞かれました。食堂内には栄養士による食生活相談所も設け、学生の皆さんは熱心に話を聞いていました。



旬・地産地消を意識したメニュー
信州ポークもも肉のステーキ おろしソースかけ、
信州野菜のヘルシーサラダ、しなの路スープ、ご飯、牛乳



食育ランチを味わう学生

南佐久野菜のトップセールス

〈京浜地区主要卸売会社との推進会議も開催〉

南佐久野菜協議会会長／由井和行 J A 長野ハケ岳組合長、事務局／全農長野県本部東信事業所と南佐久野菜協議会の会員 J A (長野ハケ岳、川上そ菜販売、川上物産) は、7月11日(金)に東京都大田市場で、南佐久野菜のトップセールス及び主力品目であるハクサイとレタスの試食宣伝会を開催しました。

前日は、京浜地区の主要卸売会社7社と推進会議を行い、生産状況や市場の販売状況などについて活発な意見交換がされました。

東京青果(株)と東京荏原青果(株)の競売前セシモノーでは、由井協議会長が買参人の皆様に「野菜消費の拡大と、南佐久野菜のより一層のご愛顧をお願いします」と挨拶をすると共に、主要卸売会社に対し、販売の力添えをお願いしました。

売り場は南佐久地区の5町村(小海町、川上村、南牧村、南相木村、北相木村)のポスターのぼり・主力の葉野菜類の展示で彩りました。試食は「ハクサイのゴマ油炒め」「レタスのコンソメスープ」を提供し、



南佐久地区の野菜とポスター展示

多くの方に味わっていただきました。南佐久5町村の首長の皆様も参加される予定でしたが、台風の接近により残念ながら急遽欠席となりました。大田市場は天候に恵まれ、多くの皆様に南佐久野菜を紹介できました。

今後もこのような機会を通じて地域行政・J Aと連携し、南佐久地区の農業発展に取り組んでまいります。



挨拶をする由井協議会長



産地より、多くの関係者が参加しました

旬の信州野菜をどうぞ！

〈生産者が量販店で直接アピール。〉

「信州野菜一斉宣伝会」を実施

全農長野県本部野菜花き課は7月5日(土)と20日(日)、長野県野菜の出荷最盛期に合わせた一斉宣伝会を、首都圏・中京圏・近畿圏の量販店のべ36店舗に72名の産地応援を得て実施しました。生産者と J A 職員が店頭立ち、お客様に試食をすすめるながら野菜の選び方やおいしい食べ方などを紹介しました。お客様は「新鮮でおいしい」「産地の方から直接お話しが聞けて良かった」と喜ばれ、産地からの販売応援の方からも「お客様の生の声を聞くことができて良かった」「出荷した野菜がどのように売られているのかわかることが出来た」と好評でした。

今後も、長野県野菜の消費拡大に積極的に取り組んでまいります。



7/20 JA長野ハケ岳チーム イズミヤ カナート洛北店



7/5 JA信州うえだチーム ダイシン百貨店

ながのけんのやさい・きのこ・くだものをたべよう！

〈幼稚園と保育園に残暑見舞い用ハガキをプレゼント〉

全農長野県本部生産販売部は「暑い夏は、長野県の栄養満点な農産物をたくさん食べて、元気に乗り切っていただきたい」というメッセージを込めて、「ながのけんのやさい・きのこ・くだものをたべよう」というフレーズが印刷された残暑見舞い用のハガキを、学校法人信学会の幼稚園と保育園に3,000枚プレゼントしました。

贈呈式は、信学会裾花幼稚園(長野市)で行われ、子どもに大人気の本会農産物 P R キャラクター「信州力」も登場しました。小林哲男副本部長から、「長野県の野菜・きのこ・くだものを沢山食べて、元気に夏を過ごしましょう。その元気な姿を周りのみなさんにも伝えましょう」と挨拶し、ハガキを手渡しました。

大井恵理子園長先生は、「近年は季節毎に手紙を書く機会も少なくなっています。園児が書いたハガキは、ご両親やおじいさん、おばあさんにとって一生の宝物になると思います」と話されました。このような季節の楽しみと共に、旬の農産物を楽しんでいただきたいと思います。



好きな農産物の絵を書いた園児

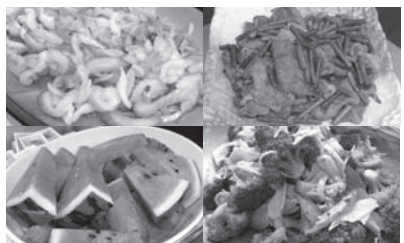


ハガキを受け取った園児、小林副本部長、信州力

佐久長聖高校野球部に長野県産農畜産物を贈呈！

全農長野県本部は、第96回全国高等学校野球選手権大会の長野県代表校の佐久長聖高等学校野球部に、県産の農畜産物を贈りました。

8月7日(木)に岡村達雄大阪販売事務所長が同校の練習グラウンドを訪ね、浜電太郎主将に目録を手渡しました。岡村所長が「長野県の生産者が一生懸命作った農産物です。これを食べてがんばってください」と言うと、「ありがとうございます。がりとございます。がんばります」と力強くお礼を述べました。



県産農畜産物を使った料理



岡村所長(左)から目録を受け取る浜主将

大坂市の宿舎に届けられた長野米、信州プレミウム牛肉、レタス、セルリー、ハクサイ、モモ、スイカ、ぶなしめじ、えのきたけなどは宿舎で調理され、選手に提供されました。同校は1回戦で東海大学付属甲府高等学校(山梨県)と対戦し、長野県勢として5年ぶりに初戦突破を果たしましたが、2回戦で聖光学院高等学校(福島県)に惜敗しました。

今年のスイカも甘くておいしいよ

〈松本山雅FCホームゲームでスイカをPR〉

全農長野県本部と J A 松本ハイランドは、7月26日(土)に開催された松本山雅FCホームゲームで J A 松本ハイランド産スイカの P R イベントを行いました。

来場したサポーター約2,500人にスイカを振る舞い、来場者プレゼントにもスイカを提供しました。気温35℃を超える快晴というスイカ日和の中、長い時間開場を待っていたサポーターも多く、スイカの試食をしようとテントには長い列ができました。山雅サポーターからは「やっぱり松本ハイランドのスイカはおいしい」、対戦チームの東京ヴェルディサポーターからは「今年食べたスイカの中でいちばん甘い」と評判も上々でした。



次々とスイカを手取るサポーター

畜産酪農部

生産者が丹精込めた畜産酪農品を 有利に売りぬき、生産者手取りの向上を。

畜産酪農生産基盤を維持し、消費者の皆様へ安全・安心な生産物を安定的に供給するとともに、生産性向上による生産者手取り確保のために、様々な事業に取り組んでいます。

○畜産課

畜産課は、生産基盤の維持拡大を図るため、農協、ＪＡ東日本くみあい飼料(株)などＪＡグループが一体となり中核農家の巡回指導に取り組ん



JAグループ一体となった生産性向上巡回指導

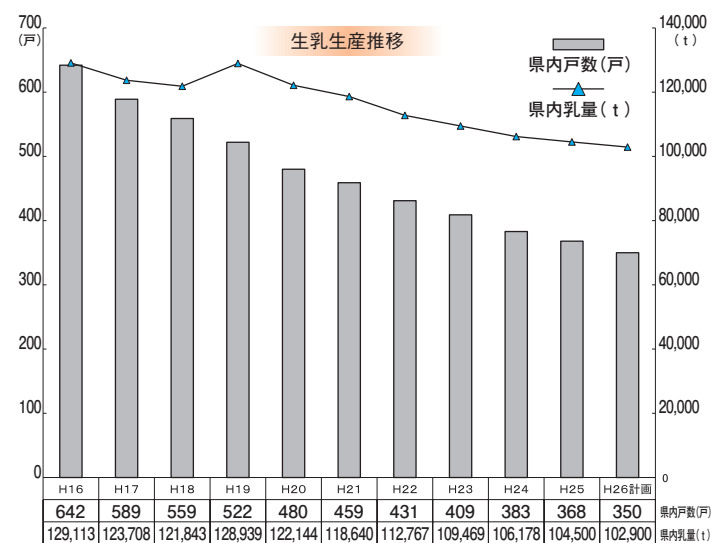
でいます。各畜種ごとに目標を設定し、生産性の向上による農家所得の確保と数量拡大を目指しています。飼料については、ＪＡ東日本くみあい飼料(株)と連携して低価格飼料の開発をすすめ、また飼料米や未利用資源の活用により飼料価格抑制の取り組みを行っています。

販売力強化による再生産可能な事業環境の構築を目指し、牛トレーサビリティシステム、ポジティブリスト制度を活用した「生産履歴管理」の徹底と安全・安心な信州産畜産物の販売を行っています。また、特色ある信州産ブランドの確立を目指し、肉牛では長野県独自の認定基準にもとづく「信州プレミアム牛肉」を県

内や関西地区を中心に販売しています。肉豚については、「信州Ａポーク」などの「銘柄豚」に加え、オレイン酸値を活用したブランド強化の取り組みを始めています。



長野県独自のおいしさ基準を満たした「信州プレミアム牛肉」



○酪農課

酪農課は、生乳生産現場から牛乳消費拡大・酪農理解醸成活動まで、酪農振興対策を強化しています。

県内の生乳生産は、平成16年度実績と26年度計画との比較で、戸数△

○生産農場

素畜の安定供給と農家経営の補完事業として、生産農場の運営を行っています。SPF豚繁殖センターは、子豚の生産性向上による素子豚の安定供給を実施しています。

三岳平谷牧場は、ＥＴ和牛子牛の素牛供給と預託事業による農家経営支援に取り組んでいます。また、後継者育成のための研修にも取り組んでいます。

ハケ岳牧場は生乳生産のほか、ＥＴ和牛子牛生産、乳牛育成牛生産、季節預託、酪農教育ファームに取り組んでいます。



JA長野ハケ岳管内での移植の様子



長野県中央家畜市場セリ風景

担当部長からひとこと

畜産酪農事業は、飼料価格高騰、生産者戸数の減少など多くの課題に直面しています。

県本部の使命は第1に生産者が丹精こめた生産物を有利に売りぬくことです。「信州ポーク」「信州プレミアム牛肉」「信州和牛」「信州アルプス牛」「信州のたまご」「信州の牛乳・乳製品」の各々のブランド力を高め、ＪＡグループが一体となって邁進します。

第2は飼料コスト低減対策と生産性向上対策です。飼料事業は現在、ＪＡ東日本くみあい飼料(株)が行っていますが、現場の実態を価格と品質に反映するよう強く求めています。また県本部として飼料米の活用によるコスト低減の取り組みを強化しています。受精卵移植などの新技術にも積極的に取り組めます。

第3は県本部農場を活用した「素畜づくり」です。SPF豚繁殖センターのSPF子豚生産、三岳平谷牧場・ＥＴセンターにおける和牛子牛生産、預託、ハケ岳牧場における乳牛育成牛生産、季節預託は重要性が高まっており、機能発揮に努めます。

畜産酪農部長 山崎 進

9月の動き▶

総務 広報課	●松本山雅FCホームゲーム「JA全農長野デー」 9月28日(日) アルウィン (松本市)
野菜 花き課	●第46回信州フラワーショー サマーセレクション 9月4日(木)・5日(金) JA長野県ビルアクティーホール (長野市) ●信州産花き一斉市場展示 9月8日(月)～13日(土)東京、名古屋 9月15日(月)～20日(土)大阪 ※キク、カーネーション、ダリア、トルコギキョウ、 グラジオラス、枝ものを各市場で展示します
燃料・ホーム エネルギー課	●LPガス提案営業話法コンテスト 9月11日(木) 営農研修センター (安曇野市)
SS協同 経営課	●SSマネージャー全体会議 9月10日(水) グリーンホールミナミ (長野市)
A・コープ 事業部	●信州農畜産物まつり開催！ 9月19日(金)～21日(日) A・コープ各店舗 ●信州の秋プレゼントキャンペーン 8月29日(金)～9月23日(火) A・コープ各店舗 ●「敬老の日」似顔絵募集中 8月22日(金)～9月15日(月) A・コープ各店舗 ●A・コープ決算セール開催！ 9月26日(金)～28日(日) A・コープ各店舗

お詫びと訂正

本誌8月号 (vol.423) 5ページ「平成26年度 子会社・農工研の常勤役員体制」に掲載しました株式会社エーコープサプライのご紹介に誤りがありました。

読者及び関係者の皆様にご迷惑をお掛けしましたこととお詫びいたします。

正しくは以下の通りです。

(誤)		
組織名	役職	氏名
株式会社長野エーコープサプライ	代表取締役社長	浅野 尚志
	専務取締役	傳田 修一
	常務取締役	壇原 栄
(正)		
組織名	役職	氏名
株式会社長野エーコープサプライ	代表取締役社長	浅野 尚志
	専務取締役	傳田 修一
	常務取締役	壇原 栄
	常務取締役	横山 勝治

JA全農長野の事業現況

平成26年度7月末部門別実績表

(単位:百万円,%)

部門	区分	実績	計画比	前年比
米	穀	5,169	80	95
果	実	2,365	110	87
野菜	花き	21,743	97	92
野菜種苗	センター	110	104	103
きのこ		4,395	93	101
営業		3,248	88	93
生産販売部計		37,030	93	93
包装資材		2,294	79	77
生産資材		3,992	107	76
農業機械		2,137	87	85
施設住宅		877	128	43
生産購買部計		9,300	95	73
畜産		3,995	107	104
三岳平谷牧場		79	120	106
SPF繁殖センター		98	103	100
酪農		5,846	109	105
八ヶ岳牧場		100	93	108
畜産酪農部計		10,119	108	105
燃料・ホームエネルギー		9,271	102	97
SS協同経営		3,923	106	98
生活		4,708	100	97
生活部計		17,902	103	97
A・コープ事業部計		10,351	102	107
長野県本部計		84,702	98	94

新採用職員紹介

【生活課 寺沢なつき】

はじめまして、生活課の寺沢と申します。出身は上田市(旧丸子町)で、生まれも育ちも生粋の長野県民です。実家は農家ではありませんが、祖父母が家庭菜園をしていることもあり、幼い頃から新鮮な野菜に恵まれて育ちました。自分を育ててくれた長野県の農業に貢献できるよう、日々頑張りますので、よろしくお願い致します。



エコープマーク品、おすすめです

【酪農課 窪田裕介】

はじめまして。酪農課の窪田裕介と申します。入会してから5ヵ月ほどが経ちましたが、まだまだわからないことばかりであり、一方で慣れからくる油断のようなものが自分の中に生じてしまっているように感じます。この記事を書くことでもう一度気を引き締め直し業務に取り組んでいこうと思いますので、皆様よろしくお願い致します。



毎日牛乳を飲みましょう

A-Board

第46回「信州フラワーショー サマーセレクション」のご案内

全国一の生産量を誇るカーネーション・トルコギキョウをはじめ、キク・スターチス・グラジオラス・ユリなど約500点が県内から出品され、品質や栽培技術を競います。みなさまのご来場をお待ちしています。

- 開催日 平成26年9月4日(木)～5日(金)
- 一般公開 9月4日(木)午後3時～午後6時
9月5日(金)午前9時～午後2時 (午前11時～褒賞授与式)
- 会場 JA長野県ビル「アクティーホール」
- 実施内容 (1)品評会 (切花、花木)
(2)展示会 ①フラワーアレンジメント
②種苗会社による品目・品種紹介
③花き関連新資材・機器
(3)花の販売 ①品評会出品展示品
一般公開時に予約販売を行います。ご予約いただいた花は、一般公開終了後の9月5日(金)午後2時よりお渡しします。(～午後4時まで)
②信州産の花を使った花束・アレンジ等
一般公開時に花束・アレンジメント等の即売を行います。



編集後記

本誌でも紹介しました「地産地消カレールーキャンペーン」ですが、地元食材を使った当地カレールーは元々カレールーが大好きな子供たちには大人気でした。「つわくそれ、食べ切れるの？」って心配は当然ながら無用。カレールーを通じて子供たちに地元食材を理解して貰う試みは成功だったと思います。「要らぬ心配」というと、お盆中に覗いた近所の道の駅で、おそろくお土産にでもするのでしょうか、「そんなにどうするの？」と思うほど大量箱買いする県外のお客さんの姿を見かけました。気のせいかな、遠方からの車ほど大量に積み込んでいるような。思わず「来訪距離購入量比例の法則？」と呟いていました。嬉しそうにカレールーを大盛りにしていた小学生でしたが、4年生児童と比較して明らかに少ない量の6年生の女の子。女の子は6年生くらいになると「年齢ご飯の量比例の法則」は適用されなくなるようです。

信州の快適&セーフティドライブ!

お近くの県内45店舗の
スマイルステーションをご利用ください。



あなたとくるまの
SMILE STATION



グリーンロード西箕輪/グリーンロード伊那/グリーンロードみすず/グリーンロード春富/グリーンロード西春近/サザンポートみのわ
 東部中央/フラワーロード駒ヶ岳/七久保/グリーンパーク座光寺/まつかわ/市田/カリスたかぎ/グリーンパーク桐林
 カーポートあち/アイロードあなん/メルヘンロード尖石/米沢セルフ/玉川/ふじみセルフ/おんたけ/ハイランドセルフ島内
 フルーツロードいまい/麻績/松本臨空/アルプスロードはた/グリーンロードやまがた/北小野セルフ/パノラマロードときわ
 アルペンロード神城/白馬アルプス/川中島セルフ今井/南長野公園前セルフ/長野インター松代セルフ/アグリしなのいセルフ
 バリオ/アンズロード/西部セルフ/中之条セルフ/相之島/井上セルフ/高山/志賀高原/あぐりタウンセルフ/東部



携帯サイトはこちらから



光と風と水のハーモニー
JA全農長野



JA全農長野ホームページ <http://www.nn.zennoh.or.jp>
 インターネットで産地直送「JAタウン」 <http://www.ja-town.com>

